

読みたい聴きたい

福岡市内の書店『ブックスキューブリック』のオーナー・大井実さんに、毎回テーマに沿った本と音楽を紹介していただきます。ジャンルを超えて楽しめる作品にぜひ、触れてみてください。

撮影/スタジオパッション

ココロに、 ウツクシク

(心が躍る作品)

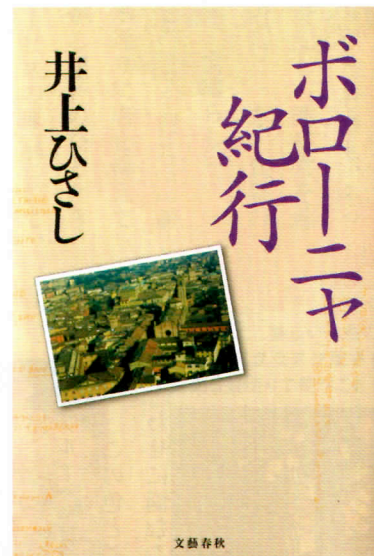
大人になってもトキメキを忘れない。
読んで聴いて、ワクワクする作品をお届けします。

昔からイタリアという国が大好きです。中世に建設された美術館や広場などが数多く残る美しい景観もさることながら、人々の性格はとても陽気で楽しく、街はいつも賑やか。そんな胸が高鳴るイタリアに私はとても惹かれ、実はかつて、一年ほど移住したこともあるんです。今回は、私自身思い入れのあるイタリアに纏わる一冊です。

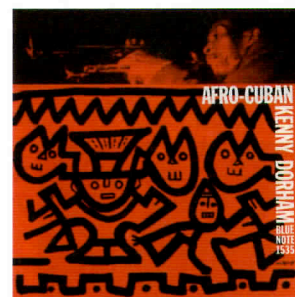
作品の舞台は、タイトルの通り、イタリア北東部に位置するポローニャ。赤煉瓦の美しい街並みが印象的で、ヨーロッパで最も古い大学があることでも知られるこの街の魅力を、作家の井上ひさしが綴った紀行作品です。とはいっても、観光の要素だけが主になった単純なものではありません。この本は、大学や劇場、福祉施設などの取材を通して、住民や行政、企業が協力しながら地域を盛り上げる、ポローニャならではの街づくりの精神にまで至っています。たとえば流通ひとつをとっても、市民は小さな商店を盛り上げて経済を成り立たせ、地場産業を手掛ける職人たちの技を誇り、技術の継承にも努めている。ここには、民衆が自分たちの街を心から愛し、

自治の精神を貫くことで、イタリア有数の豊かな都市へと発展したポローニャの姿があるのです。翻って私たち日本人の暮らしを見るとどうでしょう。経済は中央中心となり、地方都市の力は衰え、商店街はさびれて若者は次々と故郷を離れてしまう。この本を読めば読むほど、日本人が忘れかけた幸せな生き方の秘密が隠されている気がしてなりません。街を元気にするのは、人々であることを改めて教えてくれる奥深い一冊は、地方に住む私たちに大きな希望と志を与えてくれるようです。

音楽は、イタリアを訪れた時のような高揚感のある作品として、ジャズトランペットの名手として名高いケニー・ドーハムのアルバムをご紹介します。彼が生み出す音楽は、陽気なリズムが特徴のラテンジャズ。特にこの一枚は、思わず踊ってしまいたくなるような非常にノリのよい楽曲ばかりです。私のお気に入りには、一曲目の『アフロデイジア』。コンガの乾いた音がとても好きで、心も体も揺さぶられます。これから夏にかけてオススメの踊れるジャズの名盤です。



『ボローニャ紀行』
井上ひさし
文藝春秋
1,250円(税込)



『アフロ・キューバン+2』
ケニー・ドーハム
EMI ミュージックジャパン
1,700円(税込)
TOCJ-7031

■ 大井実さん
話題の一冊から普遍的な作品までを描える福岡市内の書店『ブックスキューブリック』のオーナー。東区箱崎にある箱崎店では、オリジナルブレンドコーヒーやスイーツ、ベーグルなどが楽しめます。ブックスキューブリック
福岡市中央区赤坂2-1-12 ネオグランデ赤坂1階
☎092-711-1180 <http://www.bookskubrick.jp>

